

## 2 目標達成計画

事業所名：むらさき苑かまどわの家

作成日：令和元年11月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。  
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	毎朝申し送り時に唱和することで理念を共有し、意識づけして実践に繋げようと努力しているが、具体的な取り組みや方法が見えていない状況である。	①わの家の日々の過ごし方に、もっと利用者の声を反映させる。	これまでも随時意見を聞く機会を持ってきたが、定期または必要時に「わの家会議」を開き、利用者職員共にやりたいことや食べたいもの、作って食べたいものなどの意見を出し合い、ふれあいタイムなどの予定と一緒に計画する。	6 か月
			②定期的に理念に基づいた具体的な目標を立て、実践する。	「わの家会議」で話し合い、具体的な目標を決め、利用者と職員が協力し合って生活する。	6 か月
2	35	年3回、定期の避難訓練は行っているが、段差がなくスロープになっている玄関からの避難だけになっている。実際に避難する場合、玄関からの避難が困難な事もあるため、玄関以外からの移動を利用者、職員共に普段から慣れておく必要がある。	①物干し場やテラスからの出入り回数を増やす。	今までも中庭での外気浴や活動時には、物干し場やテラスから中庭に出る事はあったが、そういった機会を増やしたり、物干し場から外に続くスロープを使って散歩に行く機会を作っていく。(冬期間は無理をしない)	6 か月
			②居室掃出し窓からの出入りを体験する機会を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期避難訓練の内1回を掃出し窓からの避難とする。</li> <li>・段差を確認しながら歩いて外に出る。</li> <li>・車椅子の操作方法を確認、体験する。</li> <li>・布団や毛布を利用した脱出方法を検討、体験する。</li> </ul>	6 か月
3					か月